

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第6号

果樹

発行日 平成21年 8月27日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

りんごの肥大は順調！早生種の適期収穫・すぐりもぎの徹底を！！
ぶどうも品種特性が発揮される適期収穫を！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定点観測地点(表1)の果実肥大(横径)を県平均でみると、平年をやや上回り、ほぼ前年並と順調に生育しています。品種別では「ふじ」の肥大が良好な傾向となっています。

表1 県内の定点観測ほ場における果実肥大(横径)状況(8月21日時点)

(単位:mm)

市町村	地区	つがる(わい性樹)					ジョナゴールド(わい性樹)					ふじ(わい性樹)				
		本年(H21)	前年(H20)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H21)	前年(H20)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H21)	前年(H20)	平年	前年比(%)	平年比(%)
岩手県農業研究センター		82.2	85.2	82.9	96	99	76.8	80.1	80.5	96	95	75.4	77.6	73.7	97	102
岩手町	一方井	79.6	79.0	80.7	101	99	77.3	78.2	79.6	99	97	75.9	75.7	71.1	100	107
盛岡市	三ツ割	81.7	79.7	80.4	103	102	78.9	79.7	79.0	99	100	73.4	75.1	72.9	98	101
紫波町	長岡	83.3	80.9	85.0	103	98	83.9	82.7	80.6	101	104	78.4	75.1	74.4	104	105
花巻市	中根子	87.0	84.2	80.6	103	108	84.1	85.0	79.9	99	105	77.7	79.2	71.3	98	109
北上市	立花	91.7	92.1	85.0	100	108	87.4	84.8	83.1	103	105	81.0	82.7	76.9	98	105
奥州市	前沢区稲置	87.5	82.9	83.3	106	105	79.1	79.0	79.5	100	99	76.9	77.2	75.0	100	103
	江刺区伊手	82.2	81.0	80.1	101	103	79.6	80.9	80.1	98	99	72.1	73.0	71.0	99	102
一関市	花泉町金沢	84.7	81.6	82.2	104	103	80.6	84.5	78.6	95	103	75.3	71.6	71.0	105	106
	大東町大原	84.3	86.5	82.2	97	103	80.2	79.5	76.9	101	104	76.8	72.1	73.1	107	105
陸前高田市	米崎	84.9	84.8	82.8	100	103	75.7	73.6	77.9	103	97	71.1	69.1	72.2	103	98
宮古市	崎山	83.6	81.0	80.1	103	104	82.2	85.0	80.6	97	102	79.1	78.2	73.7	101	107
岩泉町	乙茂	80.2	95.9	81.9	84	98	82.2	79.7	73.7	103	112	82.4	79.1	72.3	104	114
洋野町	大野下長根	80.9	78.3	77.7	103	104	79.9	76.8	76.8	104	104	72.4	71.9	69.5	101	104
軽米町	高家	85.3	82.6	80.4	103	106	77.5	0.0	79.0		98	74.3	0.0	68.7		108
二戸市	釜沢	85.0	82.4	81.1	103	105	78.7	84.2	81.1	93	97	80.6	75.3	73.0	107	110
県平均値(参考)		84.1	83.5	81.6	101	103	80.5	81.0	79.1	99	102	76.5	75.4	72.4	101	106

県平均値に農研センターのデータは含まれていない

(2) 果実品質

定点観測地点の「つがる」の果実品質を県平均でみると、硬度は平年よりやや低めで推移してありますが(図1)、糖度(図2)、デンプン指数(図3)はほぼ平年並みとなっています。

開花が平年より早かった割に熟度はそれほど進んでいない傾向であり、収穫期はほぼ平年並みと予想されます。また、大玉傾向であるため硬度がやや低めの傾向にあり、その点には十分に留意して、適期の着色管理並びに適期収穫を進めましょう。

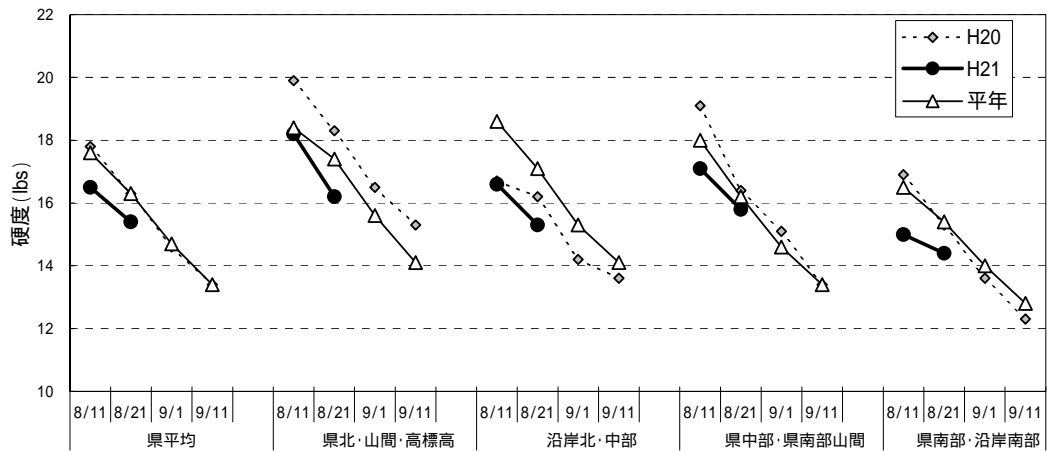


図1 つがるの硬度の経時変化

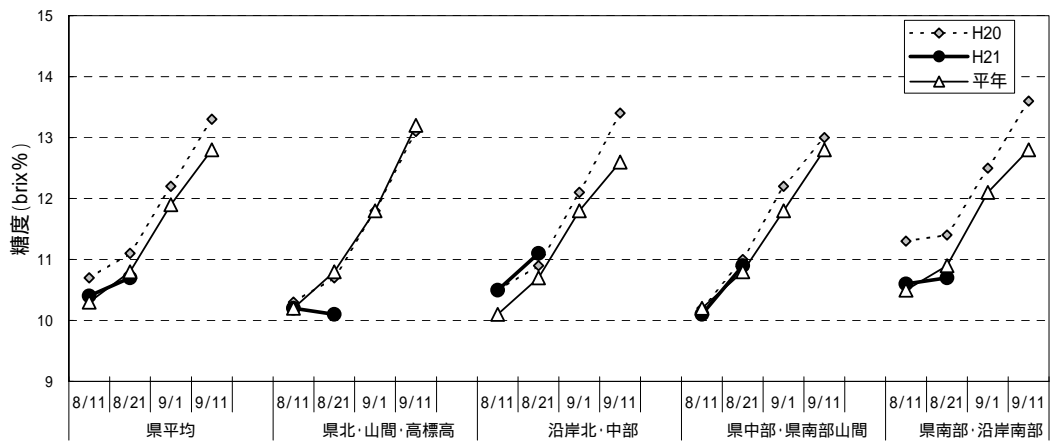


図2 つがるの糖度の経時変化

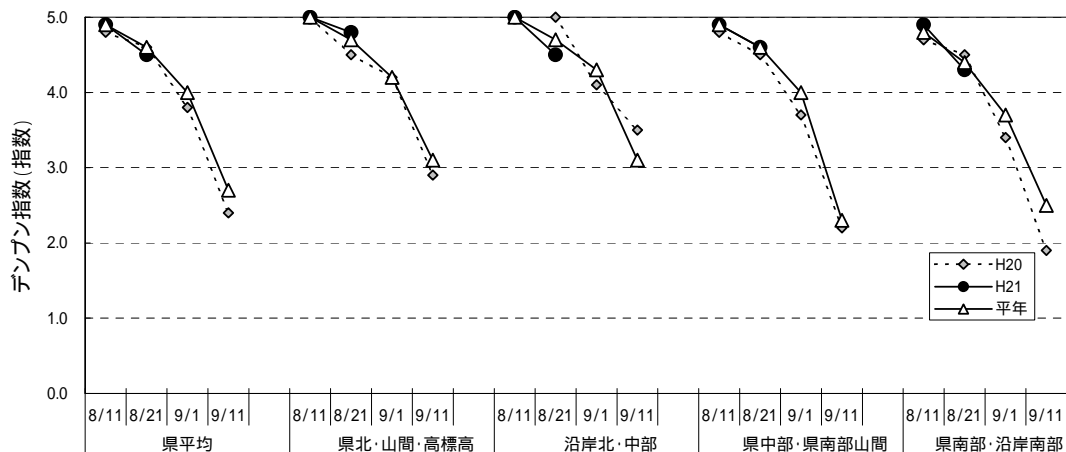


図3 つがるのデンブンの経時変化

2 管理作業

(1) 早生種の着色管理

ア 「さんさ」、「つがる」について作業を進めましょう。

イ 1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉まわしと同時に適当な強さに葉を摘みます。しかし、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。

ウ りんごの着色適温は15～20です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。

(2) 収穫 (表2 参照)

- ア すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。
- イ 「きおう」は、ツル浮き (内部裂果) が発生しやすく、これは正常果よりも早く熟しますので、特に収穫前半はツル浮き果が混入しないよう注意してください。本年は、ツル浮きの発生が多い傾向にありますので、特に注意が必要です。
- ウ 「つがる」は、収穫後の果肉の軟化が早く、また、収穫が遅れると果面に油上がりが発生しやすいので、地色に注意して遅取りを避け、収穫後はできるだけ早めに予冷しましょう。
- エ 落果防止剤にストップール液剤を散布した場合は、散布日から7日以上開けて収穫します。

表2 早生種の収穫期の目安

品 種	満開日 起算日数	硬 度 (lbs)	糖 度 (brix%)	デンプン 指 数	カラーチャート 指 数
さんさ	115日	13.5 ~ 14	13 ~ 14	2 ~ 3	ふじ用地色 2 ~ 3
つがる	115 ~ 125日	13 ~ 14	12 ~ 14	3 ~ 3.5	ふじ用地色 2 ~ 3
きおう	115 ~ 125日	13 ~ 14	13以上	2 ~ 3	きおう用表面色 2.5 ~ 3.5

(3) 「黄香」の管理について

本年の「黄香」の開花期は、春先の高温の影響でやや早まったものの、前年に比べると3日前後遅れ、県中南部で5月6日前後、県北部及び県中高標高地では10日前後となりました(表3)。
 本年も「黄香」の安定生産のため、以下の点に留意して収穫前管理を進め、品質の良い果実の収穫に努めてください。

表3 「黄香」の満開期と収穫始期の目安

市町村・地区	満開期			収穫期の目安となる 満開起算日数(135日) 到達日
	H19	H20	H21	
盛岡市川目	5月25日	5月9日	5月10日	9月22日
紫波町長岡	5月16日	5月5日	5月6日	9月18日
北上市立花	5月15日	5月4日	5月9日	9月21日
一関市花泉町	5月10日	5月4日	5月5日	9月17日
一関市川崎町	5月15日	5月6日	5月7日	9月19日
二戸市舌崎	5月16日	5月7日	5月11日	9月23日
県平均	5月16日	5月5日	5月8日	9月20日

ア 満開起算日数からみた収穫期の目安について

「黄香」の収穫適期判定基準は表4のとおりで、基準の1つに満開起算日数130~135日があります。本年は開花が早まり、収穫期も早まることが想定されましたが、早生品種の熟度を見るとほぼ平年並みとなっています。「黄香」についても極端に早まらないと考えられ、満開起算日数の遅い方である満開135日後が収穫期の目安となると考えられます。なお、今後の気象や果実品質の変化によって、変動することもありますので、注意してください。

表4 「黄香」の収穫適期判定基準

「黄香」表面色 カラーチャート 指 数	満開起算 日数	硬 度	糖 度	酸 度	デンプン 指 数
指数4 ~ 4.5	130 ~ 135日	16lbs程度	13%以上	0.3%前後	2以下

イ 「黄香」表面色カラーチャートを利用した収穫期の判断

農研センターの平成 18 年度における研究成果で、表面色カラーチャートを利用した収穫適期判断が可能となりました。収穫適期の目安は、指数 4 ~ 4.5となります。表面色カラーチャートについて、欲しい方や詳しい使い方については、各普及センター、農協などにお問い合わせください。

ウ 収穫時の留意事項

「黄香」の最終的な収穫期の判断は、果皮色、糖度、硬度等を加味し総合的に判断します。収穫が早すぎると食味が劣り、収穫が遅れると裂果を助長する要因となりますので注意して下さい。なお、「黄香」の果実は比較的熟期が揃う傾向がありますので、ほぼ一斉収穫が可能と思われますが、すぐりもぎをする場合は、熟期の遅れているものを残す感覚で行ってください。

エ 落果防止剤の散布

「黄香」は収穫前落果が見られることから、落果防止剤を散布する必要があります。

平成 20 年度の農研センターの研究成果で、「落果防止剤(商品名:ストップール液剤)の 1,000 倍の早期散布は、熟期を早める傾向が伺われ裂果を助長する」とされています。したがって、本年の落果防止剤の散布は裂果軽減を図るため、ストップール液剤を希釈倍数 1,500 倍、散布時期は収穫 10 日前の使用が望ましいと考えられます。なお落果防止効果は 1,500 倍でも十分にあることが認められています。

これを収穫期の目安から計算すると、本年の散布時期は 9 月第 2 週頃になると思われます。

オ 裂果が発生した場合について

「黄香」は、場合によって、収穫前に裂果(縦割れ)が発生します。園地で裂果が発生した場合は、果実内容が十分かどうかを確認して収穫を開始します。なお、いずれの場合も落果防止剤の散布後の日数を確認し、使用基準を遵守の上、収穫を開始するようにしてください。

3 病害虫防除および気象災害対策

(1) 病害虫防除

今後の気象条件によって、斑点落葉病や褐斑病、ハダニ類等が発生することがあります。予察情報等を参考にして、必要な防除を実施しましょう。農薬を使用するに当たっては、使用基準(倍率、収穫前日数等)に十分注意してください。

(2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

ぶどう

1 生育状況

8 月 25 日時点の定点調査地点における「キャンベル」の果実品質は、果粒肥大および糖度の上昇とも平年より高くなっています(表 5)が、着色は前年よりも遅れ気味です。

これから収穫時期をむかえますが、糖度や酸抜けなどの果実品質を十分に確認してから行いましょう。

表 5 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(定点調査地点:紫波町赤沢)

調査年次	8月25日時点の生育				
	新梢長 (cm)	節数 (葉数)	房長 (cm)	果径 (mm)	糖度 (%)
本年(H21)	137.6	17.9	16.3	20.6	12.3
平年(平均)	137.8	17.9	15.2	19.3	11.1
前年(H20)	122.9	15.5	14.5	20.7	13.2
平年比	100%	100%	104%	107%	111%
前年比	112%	115%	112%	100%	93%

2 管理の要点

(1) 収穫

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、表6の品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると商品価値が落ちるので、適期収穫に努めましょう。

早生品種や栽培法によっては、すでに収穫期に入っているものもあると思われますが、収穫に当たっては、農薬安全使用基準の収穫前日数には十分に注意してください。

収穫は、果実温度が低い早朝から午前中に行います。降雨直後は、糖度も下がり、輸送中の腐敗も多くなるので避けるようにしましょう。

選果・調整は、果粉を落とさないように穂柄を持ち、未熟果、腐敗果、裂果等を除き、出荷形態に即して房形を整え出荷しましょう。

表6 品種別の収穫時期の目安

品 種	基準糖度	房の状態	備 考
キャンベル	14度以上	房全体が黒紫色	
デラウェア	18度以上	着色完了から2～3日後	酸ぬけが遅い、食味重視
ナイアガラ	15度以上	黄色みが増した頃	
ノースレッド	15～17度	房全体が赤褐色	棚持ちが良い
紅伊豆	18度以上	房全体が鮮紅色	過熟果は軟化や脱粒多い
ハニーブラック	20度	房全体が紫黒色	脱粒少ない
安芸クイーン	18度	房全体が鮮紅色	脱粒少ない
サニールージュ	18度	房全体が紫赤色	脱粒少ない

(2) 裂果対策

収穫直前の急激な土壌水分変化は、裂果の発生を助長します。土壌が乾燥し過ぎないように、こまめな雑草の刈り取り、樹冠下に敷きワラ等でマルチするなどの対策を実施します。また、降雨があった場合には、過剰な水分を早期に排水できるよう、根域の周辺にビニール等を敷く、溝掘り（明渠）するなどの対策を実施しましょう。

「紅伊豆」などの雨よけハウス栽培では、温度の高くなりやすいハウス中央部などで果実の着色不良や果肉の軟化が、裂果や脱粒を引き起こすことがあります。気温が高くなると予想される日は、サイドのビニールを巻き上げる、換気扇を利用する等温度が上がりすぎないように努めます。

農作物技術情報第7号は9月25日（木）発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
発行時点での最新情報に基づき作成しております。
発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間
急ぐより 家族の笑顔を大切に 想う心で ゆとりの仕事